

2026 年度第 2 四半期決算説明会における主な質疑応答
(2026 年 8 月 3 日 (月)、東京)

Q 1. 2026 年度通期の営業利益予想が 330 億円から 200 億円に修正されたが、要因別に内訳を教えてください。

A 1. 内訳は、販売数量・価格が 10 億円程度、生産性・稼働率が 40 億円程度、原材料・エネルギー価格・物流費等が 70 億円程度、その他が 10 億円程度です。生産性・稼働率の項目については、大半が複合材事業によるもので、このほかディスプレイ事業および医療事業の影響も一部含まれています。原材料・エネルギー価格・物流費等の項目については、為替や原油価格の影響を明確に切り分けることは難しいものの、原材料価格やエネルギー価格の高騰に加え、ディスプレイ事業の中国拠点では、中国元高の影響による製造コストの上昇を見込んでいます。

Q 2. ディ스플레이事業では、全電気溶融炉への転換が 2025 年度はコスト削減に寄与したが、2026 年度はコストアップ要因になっているのはなぜか。また、下期のコストは第 3 四半期と第 4 四半期でどのように出てくるのか教えてください。

A 2. 全電気溶融炉はガス燃焼炉と比べて生産性は高くなり、長期的にみると競争力は高くなりますが、全電気溶融炉への転換には初期コストが大きくなります。また、溶融炉は定期的な修繕が必要です。今年度は第 3 四半期を中心に定期修繕に係る費用の増加を見込んでいます。2027 年度以降はそのコストを回収できる見込みです。

Q 3. 電子デバイス事業では情報通信分野の事業拡大を見込んでいるが、マイクロキャピラリーとガラス偏光子の売上はどの程度期待できるのか。

A 3. キャピラリーや偏光子は様々な光ネットワーク網で使われていますが、近年、データセンターやデータセンター間のインフラ投資の拡大により、需要が急速に伸びています。当社でも設備投資を行い、足元の旺盛な需要に対応すべく生産能力を拡大しています。2028 年度にはそれぞれ 100 億円規模の事業へ成長させたいと考えています。

Q 4. 複合材事業の生産性改善について、期初想定に対する進捗はどうか。また、通期業績予想にはどのように織り込んでいるのか教えてください。

A 4. 複合材事業は生産性改善によって赤字幅は減少してきましたが、2026 年度上期も赤字が残り、期初に想定していた黒字化には至りませんでした。下期はマレーシア拠点でのエネルギー価格が当社の想定以上に上がる見込みであることから、通期業績予想には数十億円規模のマイナス影響を織り込んでいます。引き続き生産性改善に全力で取り組んでいるところです。また、高付加価値製品への転換や価格改定もお願いしながら、事業として利益が出せる体制に変えていきたいと考えています。

Q 5. 2016 年から 2017 年に複合材事業の欧米拠点を買収したが、この M&A は失敗だったのではないかと。社内ではどのような議論があったのか教えてください。

A 5. 当時の M&A は欧米生産拠点の確保によるグローバル体制の強化、生産ラインナップの拡充等を目的としてお

り、一定の成果を得たと考えています。しかしながら、その後の中国競合による需要を無視した巨大な投資と価格破壊は想定を上回るものでした。製造原価の多くを占めるエネルギー価格の急騰も大きな影響を受けました。現在は生産性改善を進めるとともに、汎用品から D2 ファイバなどの高付加価値品への転換を進め、複合材事業を立て直していきます。

Q 6. 2026 年 2 月の決算説明会では、D2 ファイバは 2026 年度第 4 四半期から量産開始予定となっていたが、量産開始が遅れているのか。背景を含めて状況を知りたい。

A 6. D2 ファイバはお客様に評価を進めていただいておりますが、もう少し時間を要する見込みです。一方、お客様からは第 1 世代のファイバについても供給してほしいというお話をいただいているため、まず第 1 世代を立ち上げ、次に第 2 世代を立ち上げるという計画に変更をしています。低誘電率ファイバを取り巻く市場環境や需要動向が従来とは変化しているため、お客様のご要求に確実に対応していきます。

※このメモは、投資家の皆様へのご参考として掲載するものです。

※このメモは、説明会における質疑応答の一字一句を全て書き起こしたものでなく、弊社の判断で簡潔にまとめさせていただいておりますので、ご了承ください。

※このメモには、将来の弊社の業績や弊社を取り巻く業界の環境に対する予想が掲載されています。これらは弊社グループが開示時点で入手可能な情報に基づく判断によるものであり、リスクや不確実性を含んでいます。また、このメモの内容の完全性・正確性を会社として保証するものではありません。